



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



ご存知でしたか?この取り決め

鹿兒島教区財政の正常化計画

教区経済問題評議会では、逼迫する教区財政の立て直しのために一九七七年発効の「鹿兒島教区財政の正常化計画」を研究し、現状に合った形に改正していくことを決めた。教区報では、教区信徒皆で教区の財政問題を考えるために、同正常化計画を紹介する。

鹿兒島教区財政の正常化計画

教区はいわば、イエス・キリストによって集められた一つの家族である。この家族は神を父と仰ぐ神の家族であり、司教と司祭団、それに修道者を含む信徒によって構成されている。教区民は福音と諸秘跡を通して聖霊において生かされ、司教をはじめ司祭団の奉仕によって信仰を深め豊かにしていくのである。

I 財務管理システムの教区内統一基準

- 一・管理者
- (a)小教区
 - 主任司祭を長とし、助任司祭(もしあれば)及び信徒四人以上による小教区財務委員会を設置する。
- (b)地区
 - 地区長と顧問会。但し、信徒を加えた地区財務委員会を設置することが望ましい。
- (c)教区
 - 司教、地区長、教区顧問会及び信徒若干名からなる教区財務委員会を設置する。

と、事務員等の人件費を含む。但し、司祭の生活費は地区会計で賄う。

- 二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。
- (a)小教区会計
 - 小教区の維持運営、小教区レベルの諸活動費及び減価却費等。
- (b)地区会計
 - 地区長と顧問会、但し、信徒を加えた地区財務委員会を設置することが望ましい。
- (c)教区会計
 - 司教、地区長、教区顧問会及び信徒若干名からなる教区財務委員会を設置する。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

この一致と交わりを財政面でも表すため、次の通り財政管理及び維持費負担につき統一基準を定める。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

二・小教区、地区、教区の各会計の取扱範囲を統一する。

新風

復活祭までの四週間、わたしたちは四旬節を過ごします。

主日のミサでは司祭は紫色の祭服をつけ、

栄光の賛歌も歌いません。祈りと犠牲が求められ、冬の寒さとも相まって気の滅入る季節でもありません。

私自身の経験から、快活さが取り得る青少年たちは特にそう感じるかもしれません。

しかし、人生の半ばを過ぎた今、イスラエルの民が経験した四十年にわたる砂漠での生活の意味がいくらも分かってきたように感じます。

さらに校則などの規則に縛られた自分を不自由であると感じながら我がままを通したあの青春時代に似ています。成人して100%の自由を手にしたとき、人は当然自由にもなう責任があることも実感します。

この四旬節中、天と地しかない砂漠の状態にわが身を置き、この世の栄華から身を引き、神との対話に多くの時間を割きたいものです。(H・N)

この四旬節中、天と地しかない砂漠の状態にわが身を置き、この世の栄華から身を引き、神との対話に多くの時間を割きたいものです。(H・N)

- ④教区レベルの諸事業費(司祭養成、各種研修養成事業など)
- ⑤教区レベルの諸活動費(各種委員会の活動、教区行事など)
- ⑥教区レベルの各種団体への援助
- ⑦カトリック中央協議会、ローマ聖座等への教区負担金
- ⑧その他の必要事項

- 三・会計事務及び報告様式は別紙収支計算書の通り
- 四・会計年度の統一 4月1日～3月31日
- 五・各会計の報告先
- (a)教区会計は、全司祭、全修道院長及び小教区財務委員会とする。
- (b)地区会計は、教区長と

二・この維持費は下記の

- 一・各信徒はその収入の3%を教会維持費として負担する。
- 二・この維持費は下記の

- ▼中野裕明神父(教区本部)は、志布志教会主任司祭及びカトリック志布志幼稚園園長。教区書記長兼務
- ▼ホルヘ・ソーサ神父(小宿小教区主任司祭)は、瀬留小教区主任司祭
- ▼ファン・ティエン・ドゥン神父(新任)は、小宿小教区主任司祭
- ▼山口好信神父(カルメル会)は、鹿屋小教区主任司祭及び鹿屋カトリック幼稚園園長
- ▼坂本 進神父(神言修道会)は、種子島小教区主任司祭
- ▼ジュオン・クオク・ティエン神父(種子島小教区主任司祭)は、ザビエル教会助任司祭
- ▼グウエン・ホグ・ナム神父(新任)は、鴨池教会助任司祭
- 尚、幼稚園園長着任は四月一日、司祭着任は四月十九日

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

二・この維持費は下記の

2009年中高生の長崎巡礼

テーマ:今を生きる者として
日時:3月26日(木)～28日(土)
対象:中・高生(新中1生含む)
人数:20人限定
参加費:15,000円
※離島からの参加者の旅費は主催者が負担します
締切:3月15日(日) 厳守!
問合せ:加世田教会・泉まで
☎0993(52)2303

YET

「幼い頃の顔は親の責任。四十過ぎてからは自分の責任」と教わった。そして五十を過ぎた今、少しその意味が分かってきた▼最近、以前ほど鏡を覗き込まなくなりました。自分の顔が嫌になったからだ。嫌になったのは、薄くなった頭髪やしみ、重力に抗うことなく垂れてきた頬などばかりではない。何となく覇気のない、ドンヨリと澀んだ表情が嫌でたまらないのだ▼先ごろ「他人の不幸は蜜の味」と感じる人の脳の働きに関する研究成果が発表された。それによると「ねたみ」をより多く感じる人ほど、自分より優れた人が不幸な目に遭うと、報酬を得たときと同じように脳の線条体の働きが活発になって、心地よさを味わえるというのだ▼極端に他人の不幸を喜んだことは無い?と思う。でも心の片隅でその種の甘美さを味わってきたことは否めない。鏡に映しだされたあの澁んだ顔は、そんな歪んだ心の積み重ね。取り返せない顔だろうが、せめてこの程度の顔で終わりを迎えたい。

1 ※参加者を温かく迎える ※主をお招きするための祈り、聖歌でも可

※リーダーによる説明 (15分)、今日の講座の流れを説明(司会者)

1) 分かち合いのルールについて

①自分自身を見つめ実際の体験を素直に話す。②一人で、話したいだけ話すのでなく聴くことを大切に。

③テーマからそれないように。④悩み相談にならないように。⑤分かち合われた内容は他言しない。⑥人が分かち合ったことを評価・批評・批判しない。⑦キリストが語ってくださること、共にいて下さる事を感じ取るように。

2) 聖書を用意する。ローソク、十字架、テーブルを中心に円形に着席。

私たちは誰でも幸せになりたいと望んでいます。そんな「人生の旅」を私たちは歩んでいます。この「人生の旅」を豊かにするには確かな指針が必要です。私たちは自分が正しいという思いを強く持っています。若い時には特にそうです。しかし、そうではないと少しずつ分かってきて、確固とした指針や人の意見・忠告に耳を傾けるようになります。

問いかけ(まず5分間それぞれ自分を振り返り、必要に応じてメモして下さい)

1・辛い状況にある人とかかわりを持ったことがありますか?その時、どうしましたか?

2・あなたの人生の中で一番辛かったのはどのような時ですか?その時、何が助けになりましたか?誰かに助けてもらったという思い出がありますか?(話さないことは無理して話さないようにして下さい。話せる程度の体験をお話し下さい。)

3・あなたは思慮深い人の助言を聴く方ですか?いつごろから助言を聴くようになりましたか?何かきっかけがありましたか?

※小グループに分かれての分かち合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて10分、全体では30〜40分)

神ご自身の自己紹介の後、「十戒」が書かれています。原文では「十の言葉(ダバール)」が使われています。戒律・掟・命令というニュアンスはここにはありません。神と人との信頼関係の上に成り立つ約束なのです。「私はあなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。あなたがそのことが解っているなら、あなたは...このようにすることをするはずがない」こんなニュアンスで十の言葉は書かれています。文法的には「断言命令」という表現です。神と隣人に対する「十の言葉」は互い

一辛辛かつたのはどのような時ですか?その時、何が助けになりましたか?誰かに助けてもらったという思い出がありますか?(話さないことは無理して話さないようにして下さい。話せる程度の体験をお話し下さい。)

神ご自身の自己紹介の後、「十戒」が書かれています。原文では「十の言葉(ダバール)」が使われています。戒律・掟・命令というニュアンスはここにはありません。神と人との信頼関係の上に成り立つ約束なのです。「私はあなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。あなたがそのことが解っているなら、あなたは...このようにすることをするはずがない」こんなニュアンスで十の言葉は書かれています。文法的には「断言命令」という表現です。神と隣人に対する「十の言葉」は互い

解放に導く十のことば

北薩地区宣教奉仕者(信徒使徒職)養成講座

出水教会主任司祭 大松正弘

※質問は一つずつ、分かち合いと報告をしなから進んでいきます。

出エジプト記20章1節〜17節を読んでみましょう。(省略)

わたしたちがよく知っている「十戒」ですが、単なるルールとして理解することとは適切ではありません。ルールは守れないと裁かれる印象があるからです。旧約聖書は神の約束を守れたら、そうでできなかったイストラエルの人々の歴史であり、そしてその人々を教え、励まし、赦し、慈しみを持つて関わって下さる「愛である神」を述べているからで

に神に信頼し合う兄弟が幸せな「人生の旅」を全うするために神から与えられた「神の知恵」の言葉なのです。他のいかなる神にも従うことのないように。また、隣人が苦しんでいるなら、助けるように教えています。特に寄留者・孤児・寡婦など自分で自分を守れない小さな人々は大切にするように教えられています。何故なら、「あなた自身がエジプトの地で奴隷の状態であったことを思い起こさない。私がそのあなたを救ったようにあなたも同じようにしなさい」(申命記26章5節〜19節)イストラエルの民自身が奴隷の

中から神に助けられたように、他者を苦しみから助けることは神自身の心である。あなたがそのことが解っているなら、あなたは...このようにすることをするはずがない」こんなニュアンスで十の言葉は書かれています。文法的には「断言命令」という表現です。神と隣人に対する「十の言葉」は互い

北薩地区教会四旬節黙想会のご案内	
入来	三月 一日・日
出水	三月 七日・土
大 口	三月 十五日・日
川 内	三月 二十一日・土
阿久根	三月 二十一日・土
入来	九時から十二時
出水	十五時から十七時
大 口	八時から十二時
川 内	九時から
阿久根	九時から
入来	講話・ミサ、ゆるしの秘跡
出水	講話・ミサ、ゆるしの秘跡
大 口	講話・ミサ、ゆるしの秘跡
川 内	講話・ミサ、ゆるしの秘跡
阿久根	講話・ミサ、ゆるしの秘跡
入来	大松神父
出水	夫津木神父
大 口	中野神父
川 内	山口神父
阿久根	橋口神父

な間違いが起きるでしょうか? ②あなたが最も大切な価値を「権力」にしたら、どんな間違いが起ころうでしょうか? ③あなたは他者の権利を認めなかったり、抑圧したことがありますか? (隣同士での分かち合いと全体での発表)

+KABAYAN SEKSIYON+
"Ang Pananampalataya sa Diyos"
(MULAT AT PANSAMBAYAN)
 Iginiguit ng PCP II na dapat "mulat" ang Pananampalatayang Katoliko na ibig sabih'y, naniniwala sa mga salita ni Jesus at tinatanggap ang kanyang mga turo, at nagtitiwalang nasa kanya ang "mga salitang nagbibigay ng buhay na walang-hanggang". Dapat "pansambayan" ito dahil ang Simbahan ang naghahatid sa atin ng pahayag ni Kristo sa pamamagitan ng Banal na Kasulatan at ng kanyang buhay na Tradisyon, at siya lamang ang nagbibigay daan para tayo'y makatugon nang sapat sa pananampalataya.
(NAKABATAY SA KULTURA)
 Hindi kailanman nakahiwalay ang ating pananampalatayang Katoliko sa Diyos at kay Jesu-Kristo sa karaniwang pananalig ng Pilipino sa pamilya at mga kaibigan. Sa isang banda, isinasabuhay pa nga natin ang ating pananampalataya sa Diyos sa ating mga pang-araw-araw na ugnayan sa pamilya, mga kaibigan, mga kasamahan sa trabaho, atbp. Sa kabilang banda, bawat isa rito ay may sidhing naaantig ng ating Pananampalatayang Katoliko sa Diyos na ating Ama, kay Jesu-Kristo na Kanyang bugtong na Anak at ating Tagapagligtas, at sa kanilang Espiritu Santong nananahan sa atin sa biyaya ng Diyos. "Kung kayo'y nag-ibigan, makikilala ng lahat na kayo'y mga alagad ko".
(Ang Tatlong Mahalagang Dimensyon ng Pananampalataya)
 Ang paliwanag ng Vaticano II tungkol sa tugon-pananampalataya ito ay ang sumusunod: "Sa pamamagitan ng pananampalataya, malayang itinatalaga ng tao ang kanyang buong sarili sa Diyos, isinasagawa niya 'ang buong paghahandog ng kanyang isipan at kalooban sa Diyos na nagpapahayag at buong pusong tumatanggap sa pahayag ng ibinigay ng Diyos." Ang Pananampalatayang Kristiyano, kung gayon, ay sumasaklaw sa bawat bahagi natin: sa ating isipan (paniniwala), sa ating saloobin (pagkilos) at ating puso (pagtitiwala). Isa-isahin nating saglit na suriin ang bawat aspeto nito. Magiging mulat tayo sa ating pananampalatayang katoliko kung tayo mismo ay bubuksan ang ating mga puso at isipan na tanggapin ang kalooban ng Diyos. Isa sa pagmulat ng ating mga isipan at puso sa kalooban ng Diyos ay ang pagbigay halaga sa araw ng Pahinga o araw ng Linggo na kailangan makapagsimba tuwing Linggo. Pagpalain kayo ng Panginoon.

て、わたしを導いて下さいました。わたしが歩む人生の旅路には多くの誘惑があります。自分本位の姿勢が他者の苦しみや痛みを感じさせなくしてしまっています。あなたの言葉を知らないで、自分の欲求に従って歩んだなら、周りの人々にどれ程多くの犠牲を強いたことでしょうか。わたしの「人生の旅路」があなたに祝福されたものとなりますように、わたしの心があなたのことを歩めようと思ひ巡し、人生を歩めますように。

墓参巡礼のすすめ
一月二十一日(水)、加世田聖母幼稚園での講演の後、かねて行きたいと思っていた川辺訪問が実現した。そして、南九州市学芸員から「川辺のキリシタン」について多くを学ぶことができた。
東市来鶴丸城主の奥さんと長男の新納久鶴以下家臣十五人がザビエルから洗礼を受けた。その後受洗者の数は七十人も上ったという話は「キリスト教伝来と鹿兒島」(山田尚二著)に紹介されている。
その久鶴は長ずるに及んで五十人も家臣をとまな川辺の地頭として派遣された。そして平山には教会も建てられたのだという。「そのことからして、これらの人々はおそらくあの七十人の内の五十人だったのではないかと思われる。」仏壇の町にかつて教会があった! 学芸員の話に感動を覚えた。
その平山から約四キロ北にある神殿には一族の墓があり墓石には「心」の文字が刻まれていた。研究者によるとキリシタンの墓に多いのだという。同じ信仰に生きた人々に思いを馳せながら祈りたいと思った。また、「教会跡」のしるしも是非残したい。
時代はうんと新しくなるが、草牟田に教会墓地があったという話は聞いたことがあるかもしれないが全く記憶にない。
現在の唐湊墓地に移転したのが五十年近くも前のことだというから当時のことは知る由もない。つい最近、今でも十字架が残っている」という話を聞いたので大変興味を覚え早速探してみた。二回目、管理事務所で見るとすぐに分かった。なるほど、あの大きな草牟田墓地をほぼ一望に収めることができる景勝の地にその十字架は立っていた。二m×三mほどの区画内にあって、一メートルほどの石柱からなる柵に囲われていて、司祭用だと後で聞いた。
その時の様子はブログにも書いたのだが、あまりにも荒れ果てた様子に愕然とした。「カトリック幽霊墓地」と人々は呼んでいるとも聞いた。何とかしないとけない。焦りのような気持ちに駆られた。
無縁墓も残っているようなので、ここもきれいに整備して、川辺の教会跡とともに巡礼地にしたいと思つた。ザビエルを基点に伊集院から東市来、そして川辺。さらに草牟田からは福昌寺跡のキリシタン墓地につながる。こうして、鹿兒島教区独自の巡礼の道が整う。さしずめ墓参巡礼コース。そういえば、地図でたどるパウロの道巡礼はどうなっているのかな。



聖パウロに福音宣教を学ぶ 司祭大会で教区司祭団

一月二十七日(火)から二十九日(木)まで奄美市名瀬幸町で毎年恒例の司祭大会が開かれ、研修と親睦の時間が持たれた。大会には鹿児島教区で働いている司祭と終身助祭合わせて三十五人が集った。

今年の大会のテーマは「聖パウロに学ぶ福音宣教」で、講師には新進気鋭の神学者・澤田豊成神父(聖パウロ会)が招かれた。講話の中で澤田神父は聖パウロの全体像を紹介しながら、その視点で現代の福音宣教に光を当て、深く的確な指摘をした。宣教師の現場で奮闘している司祭たちは「講話から多くの示唆を得た」と絶賛した。

講話後は聖心教会で四つのグループに分かれて、講話の内容を分かち合ったほか、お互いの感想を聞き合いながら理解を深めた。大会中のミサは午後五時十五分から名瀬聖心教会でささげられ、多くの信者が

大熊小教区ヨゼフ会が奉仕作業 芦花部教会のシロアリ駆除

奄美市内の芦花部教会は、一九二九年に献堂された聖霊に奉獻されている。奄美大島の聖堂の中でも数少ない戦前の姿をほぼ原形のまま残している由緒ある教会である。台風や火災、戦災、迫害などにも耐えた聖堂だが、近年シロアリの蝕まれ、その駆除は数年来の懸案だった。

ヨゼフ会 十七人による奉仕で駆除を行った。作業内容はまず数人がマスクをして床下に入ってゴミ(長年たまった不用品や風で吹き込んだたぐさんの枯れ葉など)を全部外に出し、風通し穴に今までなかった網の取り付けを行った。そして小型噴霧器で駆除剤を噴霧した。また聖堂と集会場の周囲も清掃し、出てきたゴミも焼却処分し



きれいに片づけた。額に汗して奉仕作業に励んでくれた壮年たちのおかげで、信徒たちに安心と喜びが届けられた。
(浦上教会・平 三國)

参加した。また二十七日(火)はミサ後カトリックセンターの多目的ホールで「奄美の信者たちとの交流会」が開催され、司祭たちは信者たちと旧交を温めていた。

レヒナ神父に感謝状 瀬留教会

大会終了後、二十数人の司祭たちは信者たちの招待で瀬留教会を訪問した。これは昨年十二月、瀬

六十年の歴史に幕 福岡サン・スルピス大神学院

福岡サン・スルピス大神学院

これまでに司祭職を目指す多くの若者を養成し、二百六十人もの司祭を送り出した福岡サン・スルピス大神学院がその六十年という長い歴史に幕を下ろした。

九州地区の教区長たちの要請にこたえて、二人

留教会創立百周年を祝った際、参加できなかったレヒナ神父に感謝状を贈呈するためのもの。

レヒナ神父は百周年を記念して備えられた新しい祭壇と朗読台の製作者だった。丁重な信徒会長挨拶の後、レヒナ神父は祭壇製作に当たったの思いを披露した。最後に心のこもった感謝状を手にしたレヒナ神父は「たくさん作品を手がけたがこんなことは初めて」と喜んでくれた。

のカナダ人スルピス会員が大神学校設立のために来日したのは、一九三三年。戦争という厳しい時代にもまれながら、来日か

小教区巡回を活動に パッションの会

カトリック 鹿児島 障害者自立を考える会「パッションの会」は、二月十四日(土)定例会を開いた。その席で、頭島光神父の長崎への移動に伴い不在

となっていた同会指導者に桃菌淳一郎教区助祭が就くことが発表された。また、事務局を紫原教会に設置し、奇数月には鹿児島市内(三月の定例会は紫原教会で十九日に開

ら十五年後、福岡市浄水通に仮住まいという形で、ロビヤール院長のもと神学生七十人でスタートした大神学校だった。現在の校舎は、一九五一年五月九日に落成されたもので、建設費はローマ聖ペトロ会やモントリオール教区援助金、スルピス会員やその親戚、友人たちによってまかなわれたという。

二月八日(月)にあった閉校式には、同校を心の故郷としている大勢の司祭たちが集まり共に祈りをささげ、また思い出を語り合った。同校は今後、東京カトリック神学院と合併し、四月一日から日本司教団のイニシアティブのもと日本カトリック神学院と名称を変更し、司祭職を目指す者が神学を修める三年間を過ごすキャンパスとして新しい歩みを進めることになる。

催、偶数月には鹿児島市外の小教区を回って活動し、教区民と分かち合いながらその活動の裾野を広げたいとしている。

連絡問合せは川越清春会長(大根占所属 Ⅷ〇九九四―二二一〇四八四)、あるいは久保孝子副会長(紫原所属 Ⅷ〇九九二―五四一八六一七)まで。

四コマ漫画で宣教

ザビエル教会「レジオ・マリエ」が福音を題材にした四コマ漫画集「いつも喜んでいなさい」を作り上げ販売、好評を得ている。い



はザビエル書院で購入できる。(定価三百円)

訃報

▼J・ニツセル神父
一九九二年から二〇〇一年三月まで鹿児島で働いたイエズスのジョン・ニツセル神父が一月二十五日(日)、心原性ショックのため、聖母病院(東京)で帰天した。八十三歳だった。神父は一九二五年米國メリーランド州ボルティモアの生まれで、四三年にイエズス会入会し、五六年司祭に叙階されていた。鹿児島では純心女子短期大学英語学科長や純心大学国際学部長を務めた。

教区評議会二〇〇八での発言集を配布

一月二十六日(月)奄美市で開かれた司祭評議会、昨年十月に開催された教区評議会での分団会の報告とその後の司祭会議で発表された意見を「発言集」としてまとめ、各小教区に配布することになった。

3月 今月の暦

- 1日(日) 川内純心閉校式
- 2日(月) 四旬節第一主日
- 8日(日) レデンブートル会例会
- 8日(日) 貴島文弥神学生朗読奉仕者選任式・聖心教会
- 14日(土) 四旬節第二主日
- 14日(土) 柳本繁春神父叙階記念日(一九六四年)
- 15日(日) 四旬節第三主日
- 17日(火) 田原 章神父(一九五三年)、坂元 進神父(一九八四年) 叙階記念日
- 18日(水) 岡 俊郎神父叙階記念日(一九六六年)
- 19日(木) 聖ヨセフ
- 19日(木) 大野和夫神父、牧山田一神父、ムイベルガ神父、岡俊郎神父、タム神父霊名
- 20日(金) 成相明人神父叙階記念日(一九六七年)
- 20日(金) ゼローム神父命日(二〇〇三年)
- 20日(金) 郡山健次郎司教(一九七二年)、永山幸弘神父(一九六八年)、浜田盛茂神父(一九六六年)、寝占教之神父(一九八三年) 司祭叙階記念日
- 21日(土) 美島春雄神父(一九六七年)、大松正弘神父(一九八七年)、小隈憲士神父(一九八八年)、末吉卓也神父(二〇〇三年) 叙階記念日
- 22日(日) 国原武志神父叙階記念日(一九五八年)
- 24日(火) 四旬節第四主日
- 24日(火) 山口好信神父叙階記念日(一九九一年)
- 25日(水) 神のお告げ
- 25日(水) 泉 浩二神父叙階記念日(一九九三年)
- 26日(木) 中高生長崎巡礼・28日まで
- 26日(木) 浜崎真実神父叙階記念日(一九九五年)
- 27日(金) 憲志神父叙階記念日(一九六五年)
- 27日(金) コンタリーニ神父(一九九八年)、島田喜藏神父(一九四八年) 命日
- 28日(土) 田辺 徹神父叙階記念日(一九五一年)
- 28日(土) 明松尊吉神父命日(一九九二年)
- 29日(日) 四旬節第五主日
- 29日(日) 内野洋平神父叙階記念日(二〇〇三年)
- 31日(火) 河野純徳神父命日(一九八九年)

福者レオ税所七右衛門顕彰碑献金に感謝

昨年十一月に川内教会前庭に建立された薩摩の殉教者レオ税所七右衛門顕彰碑のための献金(目標額四百万円)をお願いしましたところ、三百六十六万五千五百七十七円(二〇〇八年十二月末)が集まりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。(教区会計担当:中野裕明)

信仰と漢字(四)

純心学園 岡 俊郎

二月十一日、ルルドの聖母の取次ぎでしょうか、神の御子・救い主のみ言葉に身をまかせた味いまいした。「あなたがたも、そんなに物分りが悪いのか。」(マルコ七・18)弟子たちと同じく、私に言われているとじつくり味わいました。

「物分り」字面を見つめながら、一つひとつ心に響いてくるのを、命の働きの中で味わわせて頂きました。「物はまたらな牛で、生贄として一番上等なので物の代表になった」と自分に言い聞かせていたのは、祭という漢字の理解からで

物の中味、即ちその有り様・生き様はどうだろうと、また辞典を開いてみました。(字源辞典・加藤常賢著)物「物」[字形]意味を表す「牛」と、音を表す「勿(フツ)」とを合わせた字(形声)。「字音」「フツ」。「勿(フツ)」がこの音を表している。「勿」の音の表す意味は色の「雑(サツ)」「まだら」の意である。「字義」雑色の牛の意。「延長」「もの」の意に使われるのは、すべての物は不整(ふぞろい)の所から名づけられた。「万物」とは沢山の不整のものを意である。

合理的に説明がなされていて、なるほどと頭では思うのですが、心からは納得できません。心、即ち命の働きと体の働きが一つになって生きていく人間です。存在は細胞の働きなので、体は働いて、命の働きが体においてなされているからである。「生」は生む・生きる、そして生活の営みですが、生活は物を使わせてもらって成り立つのです。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

「物分り」と主がおっしゃるとき、命の働きを信じている人の生活を要求していらつしやるのでしよう。物は命の働きの中に入れて頂くことよって、永遠の命の働きへと生まれ変わるのです。信仰生活とは万物を永遠の命へと育てる大仕事ですから。

会場変更のお知らせ

マリア山荘で開催される予定でした「み言葉と祈りの集い・霧島」(裏辻洋二神父・イエズス会長東黙想の家)は、都合により会場が教区本部に変わりました。テーマ:「わたしを求めよ。そして生きよ」(アモス 5・4)
日程:3月30日(月) 10時~21時・31日(火) 9時~12時
参加費:一日二千五百円
問合・申込 迫田 〇九九一三二九一三九七五 柳 〇九九一三五六一三〇九〇

「正食とは時を知り、心を研ぎ、体を創る」。物分りとはこのことだ、とずしんと心に、その中心である命の働きに響いてきました。和歌が誕生し、心の教えを味わい、その叫びを聞いています。

み心の信心今も働きて神・親心 救い主 物分り自から分けて 自ずから体が生きて命悟ら

ひかりの子輝き生きて証し人 子は母の胸で静かに寝息をたてて

純心学園 岡 俊郎

ただ仰ぐ母の背中に生き様の模範

を見たたり堆肥のありて

「愛しき声」

鴨池教会 田平新太郎

限りなき 力

真心のときの 力

天にそわる

御名を呼べば

仄々と浮かぶ

ゆれ動く灯明の中に

確かにせまる 顔

主よ 主よと 呼べば

イエズスさまの

愛しき声が

全て伝わる

純心学園 岡 俊郎

ただ仰ぐ母の背中に生き様の模範

を見たたり堆肥のありて

「愛しき声」



下部に蟹の模様のある新納久饒の墓

分足らず、目の前に実に平和な集落が登場した。近くに近代的な建物があるわけがなく、コンビニ等があるわけでもない。あるのは田んぼと畑、そして小川。平地に立つ家々にはお決まりのように周囲に防風のため高い木を植えている。利用客がいるのか分らないが、その集落のバス停に「神殿(こうどん)」と記してあった。そしてこの川辺町神殿こそが目的の場所である。

的の墓はそこに立つ川辺町文化財指定の「宝篋印塔」(新納久饒の墓)。墓に「蟹」の模様が彫られているという。またその近くには「心」と彫られた墓も数基ある。川辺町郷土史や山田尚二先生の研究によると「ザビエルから洗礼を受けた者たちの墓」らしいのだ。残念ながらそれらの人々は皆、棄教したとのことらしいが、ザビエルから洗礼を受けた人が川辺の町に住み、その墓が存在することに心が弾んだ。このほかこの日は訪ねることができなかったが、川辺町には、平山という所に教会も建てられたという記述もある。ぜひ、足を運んでもらいたい地だ。

ぶらり散策

川辺町神殿

川辺町に興味深い墓があると聞いて車を走らせた。笹貫バイパスから西へ、大坂に向かう。途中、鈴山方面へ左折し、進んでいくと、万之瀬川沿いに広がる緑深い山々。きれいに整備された道だが車と行き交うことはほとんどない。なかなか快適なドライブコースの発見でもあった。本部を出発してから四十



頑張りました! 璃音ちゃん

東坂元小学校の四年生迫田璃音(リオン)さんは、学校が終わるとランドセルを背負ったまま純心学園に通い、要理を勉強しました。十一月の末から二月まで毎週、夕方五時から七時までです。帰る頃には月も昇っていました。

ご案内

●アルファコース(キリスト教入門講座) 3月5日~6月18日まで毎週木曜日18時30分~21時 ザビエル教会 夕食・ビデオ視聴・分かち合い 会費は500円以内の自由献金(食事の材料代として) ※申込者が12人になり次第メ切 申込&問合 柳 〇99(256)3090・090-4587-2187 松村 〇99(248)2412・090-9499-0198

●正食料理教室のご案内 正食の二大原則である身土不二(体と環境はひとつ)と一物全体(生命あるものはまるごと頂く。米なら玄米。野菜は皮付きのまま)を教えて頂きながら私たちの食生活を見直しませんか。男性の参加も可。講師:角屋敷まりこ正食協会料理講師と郡山健次郎司教 4月14日(火)10時~15時 ザビエル教会ホール 定員:25人 参加費:2,000円 エプロン、三角巾、筆記用具を持参のこと。参加希望者は植村まで。 〇995-43-3796